



CEReS

Newsletter No. 121

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング研究センター ニュースレター 2015年12月
発行：環境リモートセンシング研究センター
(本号の編集担当：ヨサファット・千葉)
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

■■■ CEReS 創立 20 周年記念イベント開催 ■■■

千葉大学環境リモートセンシング研究センター（Center for Environmental Remote Sensing：略称 CEReS）は本年で創立 20 周年を迎えました。その記念として 11 月 30 日～12 月 2 日にかけて、式典および合同シンポジウムを開催いたしました。平成 27 年もあと 1 か月ほどという慌ただしいなか日程調整いただき、ご出席いただきました国内外の関係者の皆様方には、深く感謝申し上げます。

本センターのルーツを遡ると、昭和 38 年（1963 年）に設置された工学部附属「天然色工学研究施設」に始まり、昭和 61 年（1986 年）からの学内共同研究施設「映像隔測研究センター」を経て、平成 7 年（1995 年）4 月に全国共同利用施設の研究センターとして CEReS が誕生しました。発足当初より、リモートセンシング技術の確立と環境への応用に関する研究を担って現在に至りますが、平成 22 年（2010 年）からは共同利用・共同研究拠点（環境リモートセンシング拠点）として文部科学省より認定を受け、日本全国のリモートセンシング研究を発展させる役割も担っています。また、平成 28 年度からも引き続き 6 年間、共同利用・共同研究拠点としてリモートセンシング分野の日本の代表研究機関として活動していくこととなりました。今後も、リモートセンシング研究のアジアのハブとしての機能を強化しつつ、さらなるリモートセンシングの学術発展を通して社会に貢献することを目指すべく、センター構成員一同研究に邁進してまいります。

（センター長 建石隆太郎）

■ 創立 20 周年記念式典、特別講演および祝賀会 ■

平成 27 年 11 月 30 日午後 3 時より、千葉大学けやき会館大ホールにて、千葉大学環境リモートセンシング研究センター創立 20 周年記念式典を開催しました。振り返ればこれまでの 20 年の間、国立大学法人化という大きな変革をはさみ、より自助努力を求められ、つねに高い目標設定を達成できるよう教職員・学生ともに歩んできました。この日を迎えるべく、準備委員会を立ち上げ、この 10 か月間会合を重ねてまいりました。教職員はもとより学生の皆さんにもステージ関係の手配・進行役などの協力を仰ぎ、準備を進めてまいりました。

幸い、当日は穏やかな冬の晴れ間となり、多くの皆様にお越しいただくことができました。本センターの教員の多くが所属する学会関係の方々や、共同利用関係機関、企業関係者、また歴代のセンター長や卒業生ら懐かしい顔ぶれを拝見し、あらためて御礼申し上げます。



式典は、司会の久世宏明副センター長進行のもと、建石隆太郎センター長の式辞、スライドによる「[CEReS の歩み](#)」の紹介と続き、徳久剛史千葉大学学長より学長式辞をいただきました。そのなかで、今後6～7年の第3期となる大学の大方針（TOKUHISA PLAN）では、「世界最高水準の研究分野の戦略的強化」および「大学の国際化」の二つの点での貢献を期待される、とのお言葉とともに、大学としてセンターが推進する事業について必要な支援を惜しまない決意に、皆身が引きしめる思いでした。



建石センター長

また、来賓祝辞として文部科学省研究振興局学術機関課長牛尾則文氏より、本センターがリモートセンシング研究分野における世界トップレベルの研究拠点となり、我が国の学術研究をリードするとともに、千葉大学の強み・特色として機能強化における重要な役割を担い、より一層大学の教育研究力の向上に貢献することを期待している旨、お言葉をいただきました。今回、遠方にもかかわらず、京都大学生存圏研究所長津田敏隆氏、宇宙航空研究開発機構理事山本静夫氏といった本センターと縁が深い研究機関の皆様からあたたかい祝辞をいただき、より励みになりました。その後、国内外の来賓の方々のご紹介、場を移しての記念撮影など、けやき会館を全館借り切ったの一大イベントで、センターのスタッフ・学生・OB総動員で皆様をお迎えしました。



千葉大学 徳久学長

文部科学省 牛尾課長

京都大学 津田所長

宇宙航空研究開発機構 山本理事



学長、センター長を中心に、来賓の方々、歴代センター長、教員での記念撮影



総合地球環境学研究所 安成所長

休憩をはさんで夕方からは、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所（総合地球環境学研究所）所長で、日本学術会議会員でもられる安成哲三氏による特別講演「Future Earth - 持続可能な地球社会へ向けた新しい科学の展開 (Development of a new scientific framework for sustainable global society)」を開催しました。総合地球環境学研究所と学術交流に関する包括協定を締結したことは、ニュースレター No.111（平成27年2月発行）でもお知らせ

しましたが、今回、安成所長をお招きすることができ、お話が聞けたことは、聴衆として参加した学生にとっても非常に有意義な時間であったと思います。

特別講演終了後は、けやき会館 3F レセプションホールにて記念祝賀会が開かれました。式典にご列席いただいた学内外の皆様より、あらためて CEReS 創立 20 周年にあたってのご挨拶また乾杯の音頭をお取りいただくなど、より和やかな雰囲気では進みました。あちこちで思い出話の花が咲き、また、世代を超えた CEReS の今昔話など、20 年という歳月の長さをしみじみと感じました。



また、来賓としてお越しの文部科学省研究振興局学術機関課長牛尾氏には、慌ただしいスケジュールを縫って、CEReS の施設をご視察いただきました。工学総合研究棟 8 階での概要説明から、開発中の合成開口レーダや屋上の小型衛星受信アンテナ、研究棟ロビー設置のひまわり 8 号リアルタイム画像およびそれらの衛星データを格納し、研究者コミュニティへ配信するデータアーカイブシステム等、現在取り組んでいるプロジェクトの一端を見ていただきました。



■ 合同シンポジウム開催 ■

■■■ 第 23 回 CEReS 国際シンポジウム ■■■

■■■ 第 18 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム ■■■

■■■ 第 3 回小型衛星シンポジウム (Third SOMIRES) ■■■

平成 27 年 11 月 30 日の CEReS 創立 20 周年記念式典に引き続き、翌 12 月 1 日～2 日にかけて、第 23 回 CEReS 国際シンポジウム、第 18 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム、第 3 回小型衛星シンポジウム (SOMIRES2015) を合同で開催しました。今回は 20 周年記念と同時に、共同利用・共同研究拠点として認定を受けた第 2 期中期目標・中期計画 6 年間の最終年度であり、その研究成果を発表し、今後につなげる目的での久しぶりの大型シンポジウムでした。

1 日目はけやき会館大ホールでのオープニングセレモニーに始まり、午前中は 3 階レセプションホー

ルでポスターセッションを行いました。各シンポジウム合わせて 38 件の出展があり、いつにもまして活発な質疑応答で、どの研究発表ポスターの前も熱気にあふれました。午後からは、再び大ホールにて建石センター長を座長とした、Keynote speech と呼ばれる基調講演が 3 組、続いて梶原康司座長のもと一般セッション 5 組と、国際シンポジウムにふさわしく、すべて英語での開催となりました。夕方は例年通り、けやき会館にて懇親会が催され、国内外からの招待講演者や共同利用研究者など、留学生を含む多くの参加者で交流を深めました。

2 日目は、3 階レセプションホールとコンファレンスルームにて、9 時から夕方 5 時過ぎまで各セッションに分かれて口頭発表が行われました。1 日目の General session (一般セッション) をはじめとして、Session 2A : Third SOMIRES (第 3 回小型衛星、座長 : ヨサファット)、Session 2B : Atmospheric Remote Sensing (大気リモートセンシング、座長 : 入江仁士)、Session 3A : Disaster and Anomaly (災害と異常事象、座長 : 久世宏明)、Session 3B : Food security & Agricultural Insurance (食糧安全保障と農業保険、座長 : 本郷千春)、Session 4A : Atmosphere and SAR (大気と SAR*、座長 : 樋口篤志)、Session 4B : Satellite.Remote.Sensing/ RS Technology (衛星リモートセンシング/RS 技術、座長 : 近藤昭彦)、Session 5A : Forest and Vegetation (森林と植生、座長 : 本多嘉明、加藤頭) の 8 セッション、2 日間で計 136 名の参加者 (うち海外からは 24 名) による発表・討論で、各会場とも積極的なやりとりで、意見交換がなされました。この合同シンポジウムの発表題目等のプログラムは、CEReS ホームページよりご参照いただけます。また、後日これらの成果として、資料集を発行する予定です。*プログラムは、下記よりご参照ください。

<http://www.cr.chiba-u.jp/Documents/symposiums/symp2015/Joint-Symposium-Program2015.pdf>

* SAR (Synthetic Aperture Radar) : 合成開口レーダ



シンポジウム 1 日目参加者一同会しての記念撮影 (2015 年 12 月 1 日)